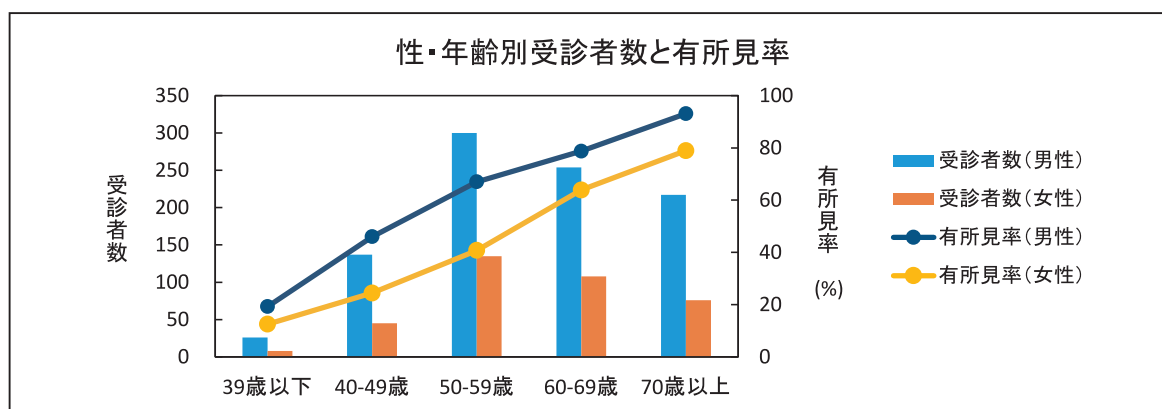


頸動脈超音波検査

性別	年齢	受診者数	正常者数 A・B判定(%)	経過観察者数 C0～C12判定(%)	要精検者数 D判定(%)	治療中 F判定(%)
男性	39歳以下	26	21 (80.8)	5 (19.2)	0	0
	40-49歳	137	74 (54.0)	53 (38.7)	8 (5.8)	2 (1.5)
	50-59歳	300	99 (33.0)	141 (47.0)	36 (12.0)	24 (8.0)
	60-69歳	254	54 (21.3)	124 (48.7)	38 (15.0)	38 (15.0)
	70歳以上	217	15 (6.9)	99 (45.7)	43 (19.8)	60 (27.6)
女性	39歳以下	8	7 (87.5)	1 (12.5)	0	0
	40-49歳	45	34 (75.6)	11 (24.4)	0	0
	50-59歳	135	80 (59.3)	45 (33.3)	7 (5.2)	3 (2.2)
	60-69歳	108	39 (36.1)	51 (47.3)	9 (8.3)	9 (8.3)
	70歳以上	76	16 (21.1)	39 (51.3)	9 (11.8)	12 (15.8)
計		1,306	439 (33.6)	569 (43.6)	150 (11.5)	148 (11.3)

頸動脈超音波検査の受診者は1,306人、このうち要精検者数150人(11.5%)、治療中の受診者は148人(11.3%)でした。



受診者数は1,306人、このうち有所見者は867人(66.4%)。加齢とともに動脈硬化が進む傾向が顕著に見られ、男女共に70歳以上では有所見者数262人(89.4%)でした。

